

Q 子育て支援推進協議会の充て職の考え方を見直すべき

A 適任者を選出しよりよい子育て支援につなげる



渡辺勝弘議員

要望は早急に指導員とともに対応している。また、「国見町子育て支援サービスに対する苦情等事務処理要綱」を制定し、第三者委員を設置した。指導員からの要望等は、その都度改善している。

問 現場で、保護者からの要望がクレームとして扱われていると聞こえてくるが、状況をどう考え、どのような対策をしているのか。

教育長 保護者からの要望をクレームとして扱ったことはない。もしクレームとして扱われていると感じるのであれば、指導員と共に丁寧に対応していきたい。また、第三者委員という新たな窓口があるので活用してほしい。

問 子ども子育て支援推進協議会が設立されたが、委員が地元の方々の充て職としての方々の充て職としていないか。直すべきではないか。

教育長 要綱に当てはまる経験者・適任者を選出し

問 指導員の中で、中心的な役割の方を確立すべきではないか。

教育長 現在は資格のある方が主任をされており、今後配置できるように考えていく。

問 保護者からの意見・要望に対してアンケートなどを取っているのか。

幼児教育課長 意見・要望等についてのアンケートは毎年行い、結果を踏まえて改善に結びつけている。今年度は、1月下旬に実施予定である。

問 子どもクラブ運営における現状をすべて把握しているのか。

教育長 平成27年4月の子ども子育て新制度により、量的・質的に活動を健全に行っている。児童125名が利用し、指導員14名を配置

して屋内スポーツやサツマイモ作りなど様々な活動を児童と共に活動している。

問 保護者・指導員からの意見・要望はどの様に対応しているのか。

教育長 保護者からの意見・要望は、1月下旬に実施予定である。



育てたサツマイモを収穫

地方議会の課題と活性化策は

町村議会議員研修会

平成28年10月31日、郡山市のビッグパレットふくしままで福島県町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

まず、「地方議会の課題と活性化策 地方創生と地方議会の役割」と題し、読売新聞東京本社編集局企画委員の青山彰久氏の講演がありました。

- 地方議会の役割は、自治体の立法機関
- 地域の政治的争点や政策情報を集約して公開
- 政治家を訓練する
- 首長と行政機関を監視することであり、地域づくりは地域に対する人々の情熱と知恵と努力の結集です。失敗から最終的な成功に導くことが必要であり、議員の役目であると考えます。

次に、「これからどうな



県内の議会議員が集まり地方の課題を学ぶ

る政局・政治」と題し、産経新聞社編集局政治部長の石橋文登氏より、今後の政局など面白く講演をいただきました。

(報告者 渡辺勝弘)

福島第一原子力発電所を視察

議会行政調査

平成28年11月10日、福島第一原子力発電所を視察しました。

復興はまだ遠く

バスを乗り換えたJヴィレッジから原子力発電所までの車窓からの景色は想像を絶するものでした。田んぼは荒れ放題、がれきの山は手付かず、歩く人は誰一人いなく、現地の復興はまだまだ先にあるように思えました。

がれき処理も動きが見えませんでした。高放射線量のために一度に作業できないと確認しました。その後、東電からの説明、質疑応答を行いました。(報告者 渡辺勝弘)

建屋は高い放射線量

原子炉の建屋をバスの中から見学しました。



線量が高く視察はバスの中から